

植生によって蓄えられた養分を作物の養分として利用することであり、また養分以外にも、休閑期間中に整えられた作物の生育に適した物理的、化学的、生物（微生物）的土壤条件を利用することである。

先進国にも焼畑原理

農業生産のために必要な農地面積が拡大するに伴い先進国では焼畑が行われなくなってきたが、それでも焼畑の原理を代替する技術は近代農業にも生かされてきた。

日本における森林と農業の結びつきの例としては、関東平野における雑木林と畑作の結びつきを挙げる事ができる。戦

前までは関東平野の台地上での畑作は入会地としての雑木林の存在と不可分であり、雑木林で採集された落葉が堆肥化されて畑地に施用されてきた。

小林

交配

兵庫県加古川市粟津四〇四

小林種苗株式会社

また、水田においても雑木林で採取された若木の茎葉や草が緑肥としての施用されてきた。落葉堆

肥は作物の病害を防止するうえでも効果があつたようである（犬井正.. 関東の平地林―農の風景、宮本常一と歩いた昭和の日本13 関東甲信越③所収）。里山と農業の結びつきについては、日本各地の山村では普遍的に存在したものと考えられる。

焼畑自体も昭和20年代まで日本の各地で行われてきたが、その後の高度成長期に入り終焉を迎えた。しかし、長年にわたる焼畑の経験は、衣食住の習慣、儀礼、年中行事、口承文芸、芸能、神社の儀式などを含む日本の基底文化の中に生き続けている。